

平成 24 年 度

佐 賀 大 学

学 生 募 集 要 項

—— 私費外国人留学生入試 ——



出 願 期 間	文化教育学部，経済学部， 医学部，理工学部，農学部	平成24年 1 月 4 日(水) ~ 1 月11日(水)
試 験 日	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成24年 1 月19日(木)
	医学部	平成24年 2 月25日(土) ~ 2 月26日(日)

佐 賀 大 学

☎ 0952-28-8178

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>
入試関係ホームページ <http://www.sao.saga-u.ac.jp/>
入試関係メールアドレス nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp

目 次

I	佐 賀 大 学 憲 章.....	1
II	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）.....	2
III	私費外国人留学生入試	
1	募 集 人 員.....	27
2	出 願 資 格.....	27
3	出 願 期 間.....	28
4	出願に必要な書類.....	28
5	出 願 方 法.....	30
6	入 試 方 法.....	30
7	試験日程及び試験時間.....	32
8	事前相談を要するみなさんへ.....	32
9	合格者の発表.....	33
10	入 学 手 続.....	33
11	入学許可の取消し.....	34
12	そ の 他.....	34
13	入学志願票等の記入上の注意.....	35
14	過去3か年の志願者等状況.....	37
IV	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内.....	38
V	添 付 書 類	
●	入学志願票，写真票，受験票	
●	検定料振込依頼書	
●	検定料振込証明台紙	
●	履 歴 書	
●	住 所 届	
●	入学志願票等出願用封筒	
●	返信用封筒（出願用封筒内に同封）	
●	写真用シール（ " ）	

この募集要項のほか，本学では「**学生募集要項（一般入試）**」を別冊で作成しております。

この要項が必要な場合は，封筒の表面に「**学生募集要項（一般入試）請求**」と朱書し，返信用封筒（角形2号封筒にあて先を明記し，340円切手を貼り付けたもの。）を同封の上，「佐賀大学学務部入試課」へ請求してください。

I 佐賀大学憲章

平成18年3月15日 制定

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

魅力ある大学

目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます

創造と継承

自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます

教育先導大学

高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします

研究の推進

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します

社会貢献

教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます

国際貢献

アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します

検証と改善

不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします

Ⅱ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

各学部の入学者受入れの方針

文化教育学部

学校教育課程

<入学者受入れの方針>

入学者選抜にあたっては公平性と多様性を理念とし、入学後の学習に必要な基礎学力、及び入学後に学習する専門分野に対する興味と学習意欲を持っているかをみるため、多様な方法による入試を実施し、多彩な人材を求めます。

【１．求める学生像】

小学校の全教科に関する学習と、専門分野（教育学、教育心理学、障害児教育、教科教育、理科、数学、音楽のいずれか）の学習に興味と意欲を持つ学生を求めます。

幅広い基礎的学力や技能を備え、学校教育の諸問題や各教科の教育について熱意を持って学ぶことにより、小学校の教員、さらには中学校・高等学校などの教員を目指す学生を求めます（なお、卒業にあたっては小学校教員一種免許状取得の要件を完全に満たす必要があります）。

【２．入学者選抜の基本方針】

- 1．求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、①一般入試（前期日程、後期日程）、②特別入試（推薦入試（教科教育選修）およびAO入試（音楽選修））、③私費外国人留学生入試、による選抜を行います。
- 2．一般入試では、大学入試センター試験のほか、個別学力検査（前期日程）もしくは小論文・面接・実技検査のいずれか（後期日程）を課します。特別入試では小論文、面接、及び実技検査を課します。私費外国人留学生入試では日本語（作文）・実技検査のいずれかと面接を課し、日本留学試験及びTOEFLの成績と合わせて入学者を選抜します。
- 3．大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目に関する教科書レベルの基礎的な知識を有しているかを評価します。個別学力検査では、国語、数学、英語のいずれかについて幅広く基礎的な知識を有しているかを評価します。小論文では、幅広い視野と柔軟な思考力を合わせ持ち、自分の考えを日本語で他者からも分かり易く文章表現ができるかを評価します。面接では、相手の意見を理解し自分の考えを相手に正しく伝えることができるかどうかを評価します。実技検査では、当該分野における基礎的な技量が身についているかどうかを評価します。

【３．高等学校段階で修得すべき内容・水準】

高等学校で履修するすべての教科・科目について、基礎的な知識を偏りなく身につけており、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現することが必要です。実技検査を実施している選修においては、当該分野における基礎的な技量を修得しておくことを求めます。

国際文化課程

< 入学者受入れの方針 >

国際的な広い視野を持った，自立し社会に貢献できる人材を確保・育成するために入学者選抜を行います。

【 1 . 求める学生像 】

国際文化課程の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために，次のような学生を求めます。

- 1 . 国際的な広い視野からものごとを考え，学び，それを将来自分や社会のため活かそうという志を持つ人
- 2 . 外国語を含む言語運用能力およびそれを活用したコミュニケーション能力の修得に意欲を持つ人
- 3 . 日本やアジア，欧米の言語・文化・歴史・社会等について学び，海外の大学への留学，公務員・旅客業・情報通信業・金融保険業など国際的な視野を必要とする業種への就職，中学校・高等学校の国語科・社会科・英語科の教員を志望する人

【 2 . 入学者選抜の基本方針 】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として，次の基本方針に基づき選抜を行います。

- 1 . 求める学生像に沿った意欲と能力を備えた人材を得るために，複数の選抜方法を実施します。
 - ①一般入試（前期日程・後期日程），②推薦入試，③私費外国人留学生入試，④3年次編入学試験による選抜を行います。
- 2 . 本課程の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
 - ①大学入試センター試験に加えて，一般入試（前期日程）では，本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行い，一般入試（後期日程）では，文化や社会への理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。
 - ②推薦入試では，学業成績や修学状況，思考力・表現力，勉学意欲，国際社会への問題意識等を総合的に評価するために，書類審査による第一次選考と，面接及び小論文による第二次選考を行います。
 - ③私費外国人留学生入試では，入学後の学習に必要な日本語能力を問い，意欲や適性について判断するために，日本留学試験及び TOEFL の成績に加えて，面接及び日本語試験（作文）を行います。
 - ④3年次編入学試験は，入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために，書類審査と小論文試験および外国語試験（英語）を行います。

【 3 . 高等学校段階で習得すべき内容・水準 】

国際文化課程における4年一貫の教育課程を確実に修得するためには，高等学校で履修するすべての教科・科目を広く学んでおくことが重要です。特に，国語，英語の基礎的な学力と応用力のある幅広い知識を有していることが求められます。

人間環境課程 [生活・環境・技術選修]

< 入学者受入れの方針 >

地域、生活、文化あるいは環境という多様な視点をもって、将来の日本と地域社会の発展に貢献することができる人材を確保・育成するため、公平性・多様性および価値尺度の多面性を旨とした多様な選抜方式によって入学後の教育に必要な学力と意欲とを多面的に判断し、入学者選抜を行います。

【 1 . 求める学生像 】

教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

1. 幅広い教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社会、人間の文化に強い関心を持っている人
2. 「 1 」 に示す領域に関する高度な知識と先見性、実践力を身につけていく意欲のある人

【 2 . 入学者選抜の基本方針 】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った意欲と能力を備えた人材を得るために、複数の選抜方法を実施します。

①一般入試（前期日程・後期日程）、②推薦入試、③私費外国人留学生入試、④3年次編入学試験による選抜を行います。

2. 本選修の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。

①一般入試（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行います。一般入試（後期日程）では、理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。

②推薦入試

学業成績や修学状況、思考力・表現力、勉学意欲、社会と環境問題への意識等を総合的に評価するため、書類審査による第一次選考と、面接及び小論文による第二次選考を行います。

③3年次編入学試験

入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、推薦では小論文及び面接、一般では外国語・小論文及び面接を行います。

④私費外国人留学生入試

入学後の学習に必要な日本語能力を問い、意欲や適性について判断するため、面接及び日本語（作文）を課します。

日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年間の課程を修了し、日本留学試験及び TOEFL を受験済みの者を入学要件とします。

【 3 . 高等学校段階で修得すべき内容・水準 】

本選修における4年一貫の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有していることが重要です。

人間環境課程 [健康福祉・スポーツ選修]

< 入学者受入れの方針 >

入学者選抜にあたっては、入学後の学習に必要な基礎学力、及び入学後に学習する専門分野に対する興味と学習意欲を持っているかをみるため、多様な方法による入試を実施し、多彩な人材を求めます。

【 1 . 求める学生像 】

現代社会の具体的な諸問題に取り組むことのできる教養・基礎学力を持ち、体育・スポーツ指導能力を磨く学生や、健康福祉専門職を目指す学生、またそのためのスポーツ実習や健康福祉の実践実習に意欲を持つ学生を求めます。

【 2 . 入学者選抜の基本方針 】

求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③AO入試、④私費外国人留学生入試、⑤3年次編入学試験による選抜を行います。

①一般入試

大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行い、一般入試（後期日程）では、健康、福祉、スポーツへの理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。

②推薦入試

スポーツ分野に関する実績及び幅広い視野と柔軟な思考力を合わせ持ち、スポーツ分野に関する基礎的な知識を有して、その基礎的な技量を問うために、書類審査による第一次選考と、小論文、面接、実技による第二次選考を行います。

③AO入試

高い学業成績と自己表現力並びに、スポーツに関する基礎的な知識を有して、自分の考えを相手に正しく伝える力を問うために、書類審査による第一次選考と、面接による第二次選考を行います。

④私費外国人留学生入試では、入学後の学習に必要な日本語能力を問い、意欲や適性について判断するために、日本留学試験及び TOEFL の成績に加えて、面接及び日本語試験（作文）を行います。

⑤3年次編入学試験は、入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、外国語および面接を行います。

【 3 . 高等学校段階で修得すべき内容・水準 】

高等学校で履修するすべての教科・科目について、基礎的な知識を偏りなく身につけており、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できること、また、健康福祉・スポーツ分野に関する基礎的な知識や技量を修得しておくことが必要です。

美術・工芸課程

<入学者受入れの方針>

教育目標を達成するために、公平性・客観性・開放性を旨とした多様な選抜方式によって入学後の教育に必要な学力と意欲とを多面的に判断し、以下の方針の下に入学者を受け入れます。

【１．求める学生像】

美術・工芸課程の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

日本画，西洋画，彫刻，デザイン，窯芸，木工工芸，染織工芸，金工工芸，美術理論・美術史及び美術教育の各分野に興味と意欲をもっている者。また，基礎的学力や技能を備え，制作・学習に意欲的に取り組み，表現や理論的な思考などの能力を自ら育てようとする熱意を持って学び，優れた教育者や専門家，企業人などを目指す者。

【２．入学者選抜の基本方針】

選抜趣旨

高校までに修得すべき知識および美術・工芸の技能を保持し，なおかつ美的感性にすぐれ，意欲があると判断される者を選抜します。

一般入試

入学要件は，出願資格を満たし，大学入試センター試験を受験したうえで，前期日程・後期日程の個別学力検査（実技検査）を出願・受験して合格した者。選抜は，美術・工芸課程が定めた配点により，大学入試センター試験と個別試験を総合的に評価して実施します。大学入試センター試験では，高校までに修得すべき知識や応用力を選抜の基準とします。また，個別学力検査（実技検査）では，技能，独創性，将来性，意欲を選抜の基準とします。

推薦入試

入学要件は，出願資格を満たし，高等学校長から責任をもって推薦され，合格した場合は確実に入学できる者。選抜は，書類（調査書および推薦書）による第１次選考を経て，面接および実技検査による第２次選考により行う。評価は，学業成績や修学状況，技能，意欲・将来性，美術・工芸分野における実績，当該分野の成績等をみて総合的に実施します。

私費外国人留学生入試

入学要件は，日本国籍を有しない者で，国外において学校教育による12年の課程を修了し，日本留学試験及び TOEFL を受験済みの者。選抜は，面接及び実技検査による。評価は，日本留学試験及び TOEFL の成績と，面接及び実技検査の成績から総合的に実施します。面接及び実技検査では，知識，技能，独創性，将来性，意欲，応用力，美術・工芸分野における実績を選抜の基準とします。

3年次編入学試験（一般）

入学要件は，出願資格を満たした者で，面接および実技試験の結果に優れた者。面接では，学業成績とともに，美術・工芸についての実績や意欲を，また，実技検査では，技能，独創性，将来性，意欲，応用力を選抜の基準とします。

【３．高等学校で修得すべき内容・水準】

一般入試（センター試験／実技）

高等学校で履修したすべての教科・科目について，教科書レベルの基礎的な知識を有していること。美術について基礎的な技量を有していること。

推薦入試（書類審査／面接・実技）

美術・工芸分野に優れた実績を有していること。美術・工芸に関する基礎的な知識を有して，相手の意見を理解し，自分の考えを相手に正しく伝えることができること。美術・工芸について基礎的な技量を有していること。

経 済 学 部

＜入学者受入れの方針＞

教育方針を実施するため、以下のような方針に基づき入学者を選抜します。

【１．求める学生像】

経済学部では以下のような考えや目的をもった学生を求めています。

- 1．社会や経済における課題を発見し解決する能力を身につけ、企業や自治体などでの活動を通じて社会に貢献したいと考える人
- 2．高度な専門知識を身に付け、経済・経営・法律の分野で専門職業人となることを目指す人
- 3．社会の変化に対応するために生涯にわたって学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学習能力を大学で得たいと考えている人

【２．入学者選抜の基本方針】

一般入試

前期日程と後期日程のいずれにおいても大学入試センター試験を課しています。このことによって、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学習に必要な基礎学力をもっているかを判断します。また個別学力検査は、前期日程では英語、後期日程では小論文の試験をおこない、社会科学の専門知識を得るための語学力や読み書きの能力をもっているかをみます。

推薦入試

普通科系の生徒を対象にした入試と商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象とした入試があります。１次選考では、調査書によって高等学校での学習の達成度をみます。２次選考では、小論文で社会科学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する能力をはかり、口頭試問によって学ぶ意欲などをみます。

商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした入試では簿記検定などの検定合格や資格取得といった経済学の勉学に関連した学習実績も評価します。

私費外国人留学生入試

日本語試験と日本語による口頭試問を行い、「日本留学試験」の結果とあわせて、専門知識が習得できる学力と日本語能力をもっているかを判断する入試をおこないます。

【3．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

経済システム課程と経営・法律課程に共通して以下のことを求めます。

①知識と理解

- 1．社会で生起している問題を理解するためには幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって、高等学校の主要教科科目の教科書レベルの知識を習得していることが大切です。
- 2．大学での勉学を有意義なものとするには、事実や意見などの情報を読み解き、考えをまとめる国語と英語の学力を身につけておくことが大切です。
- 3．専門高等学校から進学する方には、普通科目の勉学だけでなく商業科目の基本的な知識と技能を確実に習得しておくことが大切です。

②意欲と関心

社会で生起している問題に関心を持ち、自らの興味の所在や考え方をまとめようとする姿勢をもつことが大切です。

医 学 部

医 学 科

< 入学者受入れの方針 >

医学部の基本理念に基づき、医学科の教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材育成を行うために、以下に求める学生像、入学選抜の基本方針を示します。

【 1 . 求める学生像 】

本医学科の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

- 1 . 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- 2 . 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
- 3 . 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- 4 . 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
- 5 . 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

【 2 . 入学者選抜の基本方針 】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

- 1 . 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、多様な選抜方法を実施します。
①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③佐賀県推薦入学特別入試、④帰国子女特別入試、⑤私費外国人留学生入試による選抜を行っています。
- 2 . 医学を学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
①一般入試（前期日程）及び⑤私費外国人留学生入試では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、また、卒業後医療に従事する際に必要な問題解決、論理的思考、表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか、を問うための総合問題試験、②推薦入試、③佐賀県推薦入学特別入試及び④帰国子女特別入試では、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる学力・能力を問うための総合問題による筆記試験を行っています。
- 3 . 医学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。
すべての選抜試験において、医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかを判断するための面接試験を行っています。
- 4 . 学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。
選抜試験の種類により、大学入試センター試験、総合問題試験、面接試験、調査書、高等学校長の推薦書、自己推薦書など選抜方法の組み合わせは異なりますが、これらを総合

的に評価して最終的な合格者を決定しています。また、全ての選抜試験に面接試験を課しており、特に、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

①一般入試（前期日程，後期日程）

前期日程は，大学入試センター試験，総合問題試験，面接試験及び調査書，後期日程は，大学入試センター試験，面接試験，自己推薦書及び調査書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。

②推薦入試

二段階選考により合格者を決定します。高等学校長の推薦書，調査書及び自己推薦書による書類選考により第一次選考の合格者を決定し，第二次選考は，第一次選考合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③佐賀県推薦入学特別入試

佐賀県による第一次選考及び本学部による第二次選考により合格者を決定します。第二次選考は，第一次選考に合格し佐賀県から推薦を受けた者に対し，総合問題試験を課し，面接を行い，佐賀県からの推薦理由等を総合的に判断して，最終的な合格者を決定します。

④帰国子女特別入試

二段階選考により合格者を決定します。書類選考による第一次選考を行い，第一次選考の合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

⑤私費外国人留学生入試

二段階選考により合格者を決定します。「日本留学試験」の成績，TOEFL の成績及び出願者の提出書類による書類審査で第一次選考を行い，第一次選考の合格者を決定します。第二次選考は，第一次選考合格者に対し，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果を総合して最終的な合格者を決定します。

【３．高等学校段階で修得すべき内容・水準】

医学科における「６年間にわたる医学教育（カリキュラム）」を確実に身に付けていくためには，高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については，生物，物理，化学の基本的な知識と理解を有していることが望まれます。

看護学科

<入学者受入れの方針>

医学部の基本理念に基づき、看護学科の教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材育成を行うために、以下に求める学生像、入学選抜の基本方針を示します。

【１．求める学生像】

看護学科では次のような人を求めています。

- １．人間に関心を持ち、人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
- ２．豊かな感性と表現力を身につけている人
- ３．相手の立場に立って、柔軟に物事を考えられる人
- ４．看護職に夢を持ち、理想とする看護職者を目指そうとする人
- ５．幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
- ６．生涯を通して、看護学や医療について勉学する意欲のある人

【２．入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

- １．求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、多様な選抜方法を実施します。
①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③社会人特別入試、④３年次編入学入試による選抜を行っています。
- ２．本看護学科の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
①一般入試では、提示された課題について、論理的な思考力や適切な表現力により的確に記述する力を有しているか、を問うための小論文、②推薦入試では、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性および種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる学力・能力を問うための総合問題試験、③社会人特別入試および④３年次編入学入試では、英語、看護専門基礎分野および看護専門分野の基礎的知識に加え、思考力、判断力等を問うための総合問題による筆記試験を行っています。
- ３．看護学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。
すべての選抜試験において、看護学科志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているか、を判断するための面接試験を行っています。
- ４．学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。
選抜試験の種類により、大学入試センター試験、総合問題試験、面接試験、調査書、高等学校長の推薦書、自己推薦書など選抜方法の組み合わせは異なりますが、これらを総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。また、全ての選抜試験に面接試験を課しており、特に、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

①一般入試（前期日程，後期日程）

前期日程は，大学入試センター試験，小論文試験，面接試験及び調査書，後期日程は，大学入試センター試験，面接試験，自己推薦書及び調査書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。

②推薦入試

二段階選考により合格者を決定します。高等学校長の推薦書，調査書及び自己推薦書による書類選考により第一次選考の合格者を決定し，第二次選考は，第一次選考合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③社会人特別入試

総合問題試験を課し，面接を行い，その結果を総合して入学者を決定します。

④3年次編入学入試

総合問題試験を課し，面接を行い，その結果を総合して入学者を決定します。

【3．高等学校段階で修得すべき内容・水準】

看護学科における「4年間にわたる看護学教育」を確実に身に付けていくためには，高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については，生物，物理，化学の基本的な知識を理解していることが望まれます。

理 工 学 部

< 入学者受入れの方針 >

【 1 . 入学者選抜の基本方針】

教育目標を達成するために、以下の方針のもとに、客観性、公平性、開放性を旨とした多様な入試方法により、入学後の教育に必要な学力と意欲を多面的に判定し、入学者を受入れます。

【 2 . 基本理念および教育目的・目標・方針】

理工学部は、理学系の数理科学科、物理科学科、工学系の機械システム工学科、電気電子工学科、都市工学科および理学と工学が融合した知能情報システム学科、機能物質化学科の7学科より構成されており、基礎に強い技術者、応用に強い科学者を育て、社会に送り出しています。

近年、科学技術の進歩は急速で、産業界のみならず人々の生活にも大きな影響を与えています。科学技術の恩恵を受け、私たちの暮らしは便利で豊かになってきていますが、一方では、地球環境問題など様々な弊害も現れています。そのため、これからの科学・技術者は、地球規模の視野に立った社会的責任を自覚し、科学技術の進展に貢献する責任があります。こうした社会的要請に応えるため、本学部では、理学と工学の学問体系を基盤として、各専門分野にわたる広い知識を修得させ、かつ個々人の得意分野の能力向上をはかり、個性豊かな人材を育てることを目標としています。即ち、地球規模で活躍できる基礎的知識と技能を持ち、多面的な考察により諸課題を見だし、知識を応用して発見した課題を解決する能力を修得することを目指します。さらに、自己と社会のたゆまぬ成長発展を担うための人間力を修得させ、また同時に世界を舞台に専門職や研究職として活躍することを目的として、日本語や外国語による的確な意思疎通能力、さらには情報リテラシーや論理的な思考・判断力などの育成にも力を入れています。

【 3 . 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

受験生の諸君が高等学校における学習によって身につけた知識や技能を前提に大学の授業が設計されています。したがって、大学において諸君が期待している理工学に関する最新の知識や技術を学ぶためには、高等学校における幅広い教科の内容を十分に理解しておく必要があります。入学時には選抜方式によらず所定の習得水準でスタートすることが望まれます。そこで、各学科が要求する高等学校段階で習得すべき内容・水準を以下に示します。

数 理 科 学 科

【１．求める学生像】

言葉は人類の獲得した知的財産の根源であり、数学および数理科学はあらゆる科学技術の言葉（基礎）となっています。数学的なものの考え方は、古くより文化の発展と人類の繁栄を支えてきました。科学技術の進歩は、数学なくしては考えられません。数理科学科では、豊かな創造性に富んだ現代数学の概念や方法の基礎を修得させ、数学の先端研究を目指す者や教育者、培った数学の力を基盤として活躍できる技術者など、社会を多様に支える知的素養のある人材を養成しています。そのため、本学科では、主として、数学が好きで、あるいは自然科学、情報科学、社会科学の数理的側面に旺盛な好奇心をいだいて、次に示すような目的意識と向学心および基礎学力を持っている学生を求めています。

- 1．数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
- 2．数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

【２．入学者選抜の基本方針】

数理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と数学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1．一般入試（前期日程、後期日程）

数理科学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力を有しているか、さらに卒業後に期待されているグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎的能力を有しているかを審査します。前期日程においては、数理科学科の科目を履修するのに必要となる数学と理科に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2．特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

数学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

3．3年次編入学試験（一般、推薦）

さらに高度な数学の専門教育・研究を強く希望する他研究機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学の意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【３．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

数理科学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、数学については高等学校で履修した範囲において応用的な能力を有していることを求めます。

物 理 科 学 科

【１．求める学生像】

物理学は、物質、相互作用、時間空間などの全ての自然現象を単純で美しい物理法則によって矛盾なく記述し、その理解を目指す、夢とロマンに満ちた学問です。物理学の研究では、論理的考察と実験的検証を繰り返し、真理を探究します。物理科学科では、専門的な物理学の基礎となる知識やその運用能力を修得するとともに、科学をよく理解し、柔軟な発想や思考で課題に向かう姿勢を身につけてもらうことを目指しており、多岐にわたる物理学の専門科目と幅広い基礎知識や文化的素養を培うための教養教育科目を設けています。物理科学科の卒業生は、物理学の研究者のみならず、企業、官庁、教員など、幅広い分野で活躍し、高い評価を受けています。

専門的な物理学の修得には、高等学校で基礎学力をしっかりと身につけることが必要です。特に理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味をもつ諸君の入学を期待しています。

【２．入学者選抜の基本方針】

物理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と物理分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

１．一般入試（前期日程、後期日程）

物理科学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力および卒業後に物理分野で活躍するのに必要な知識や技能、課題発見・解決能力を在学中に修得できる基礎能力を審査します。前期日程においては、物理学履修上の中核となる数学と物理に重点を置いた個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

２．特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

物理学分野で卒業生が国際的な活躍をすることを期待して、基礎学力と勉学意欲を有した帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判断します。

３．３年次編入学試験（一般、推薦）

さらに高度な物理の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、３年次編入学に適応した学力、専門知識および勉学意欲を学力試験または小論文（推薦のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【３．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

物理科学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、物理学分野の中核的科目である物理と数学については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに標準的な問題を解くことができることを求めます。

知能情報システム学科

【１．求める学生像】

知能情報システム学科では、IT（情報技術）に関する理論、コンピュータを中心とした情報システムの設計・開発・活用に関する技術を系統的に教育し、情報社会の発展に中心となって貢献できる情報技術者、教育者、研究者を育成しています。

本学科の卒業生が、情報通信分野を始めとする広範な業種で、専門知識を活用しながら、先進的能力を発揮する責任ある情報技術者として活躍するため、以下の教育課程を実施しています。幅広い文化、自然、社会の教養を修得させ、文書作成、口頭発表などのコミュニケーション能力を育成します。国際社会に活躍するために語学教育を行います。ITの理論を深く理解するため数学、自然科学などの専門基礎を重視します。各種実験科目や卒業研究を通して、グループの中での協調性を身に付けさせるとともに、自主的な学習能力、情報収集能力、問題発見・解決能力を養成します。

このような背景から、本学科では教育課程を通して育成する人材の前提として、全般的な基礎学力を備えた学生を求めます。基礎学力の中では特に数学、理科の学力を重視します。また、ITに対する興味を持ち、ITの基礎知識がある学生、ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある学生の入学を望みます。

【２．入学者選抜の基本方針】

知能情報システム学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力とIT関連分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

１．一般入試（前期日程、後期日程）

知能情報システム学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力および卒業後に情報分野で活躍するのに必要な知識や能力を在学中に修得できる基礎能力を審査します。前期日程においては、知能情報システム学履修上の中核となる数学と理科を重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

２．特別入試（推薦）

高等学校の情報系の科および総合学科の学生を対象に、知能情報システム学に関する基礎知識および勉学意欲や熱意を小論文や面接等によって総合的に審査します。

３．特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

知能情報システム学分野で卒業生が国際的な活躍をすることを期待して、基礎学力と勉学意欲を有した帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

４．３年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な知能情報システム学の専門教育を希望する他教育機関からの学生を対象として、３年次編入学に適應した学力、専門知識および勉学意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

知能情報システム学科で受ける科目を理解するための基礎学力として、高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの問題を解くことができる能力を求めます。

機 能 物 質 化 学 科

【1．求める学生像】

化学は、物質を探究し、新しい反応や物性を見出し、新素材や先端材料の創製を通して、社会の発展に貢献しようとする学問分野です。理学と工学の融合した機能物質化学科では、基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得するとともに、ファインセラミックスや機能性高分子材料などの新素材、エレクトロニクスやバイオなどの先端材料、資源のリサイクルや環境の浄化など“地球に優しい”物質や環境関連技術の開発などの最先端研究に係わることで、自主的な課題発見・解決能力を身につけ、化学を通して社会に貢献できる人材・自立した化学技術者として社会に貢献する人材を育成しています。

したがって、日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかに興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ学生を求めています。化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた学生を待っています。

【2．入学者選抜の基本方針】

機能物質化学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と化学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1．一般入試（前期日程、後期日程）

機能物質化学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、さらに卒業後グローバルに活躍するのに必要となる知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを評価します。前期日程においては、化学専門科目の履修上重要な数学と理科（化学または物理）に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2．特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難な特徴的な資質・能力、化学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文や面接等によって総合的に評価します。

3．特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

化学分野でグローバルな活躍を目指す人材教育の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4．3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な化学の専門教育を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に評価します。

【3．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

機能物質化学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学専門科目の履修において理解を助けるために、数学と理科（化学・物理）については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに標準的な問題が解けることを求めます。

機械システム工学科

【1．求める学生像】

航空機，船舶，鉄道，自動車のような輸送機械から発電プラントや各種の動力機械，工作機械やロボットなどの産業用機械，ロケットや人工衛星などの宇宙機器，さらには家電製品や情報・通信機器に至るまで，機械技術がかかわる分野は大変広範です。これからの機械技術は利便性や効率化の追求だけでなく，人間との協調や安全性，地球環境との調和，資源・エネルギー問題などがさらに重要となります。

機械システム工学科のカリキュラムは，入学者および編入学者の全員を対象とした JABEE（日本技術者教育認定機構）に認定された技術者教育プログラムであり，将来幅広い分野で国際的に活躍できる人材育成を目指して学習・教育目標が定められています。本学科では理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち，「もの創り」に興味のある人を求めます。

【2．入学者選抜の基本方針】

機械システム工学科では入学者選抜に際して，客観性，公平性，開放性を旨とし，入学後の教育に必要な基礎学力と機械系分野の基礎知識および勉強意欲を重視し，多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

1．一般入試（前期日程，後期日程）

機械システム工学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎学力が備わっているか，さらに卒業後に期待されているグローバルな活躍に必要な知識や技能，課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを審査します。前期日程においては，機械工学の専門科目を履修するのに必要となる数学と物理の個別試験を課し，後期日程では大学入試センター試験の結果により数学・理科・外国語に重点をおいた幅広い知識の総合力を判断します。

2．特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難な特徴的な資質・能力，機械工学分野への勉強意欲や熱意に重点化して，小論文と面接によって総合的に審査します。

3．特別入試（帰国子女），私費外国人留学生入試

機械工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として，国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。特別入試（帰国子女）では，小論文と面接により機械工学分野への学習意欲や熱意について総合的に判断し，私費外国人留学生入試では，日本留学試験・TOEFL の成績および面接により入学後の学習に必要な日本語能力と基礎学力を審査します。

4．3年次編入学試験（一般，推薦，外国人留学生）

さらに高度な機械工学分野の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として，3年次編入学にふさわしい基礎学力・能力および勉学への意欲を問います。一般入試と外国人留学生特別入試では，数学と専門科目の試験により基礎学力を審査し，推薦入試では，小論文と面接により機械工学分野への勉学意欲や熱意に重点をおいて審査します。

【3．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識を有し，機械システム工学科への入学後の専門科目の履修において理解を助けるため，数学および物理については概念や定義を十分理解した上で標準的な問題を解くことができることを求めます。

電 気 電 子 工 学 科

【1．求める学生像】

電気電子工学科では，現代社会の基盤であるエレクトロニクス産業，近年，社会的ニーズが益々高くなっている情報通信関連分野，業種を問わない広範な産業界，さらには各種社会インフラ業界などからの旺盛な人材ニーズに対して，毎年，多くの卒業生を送り出しています。そのために，国際社会や様々なビジネス分野でも通用する幅広い基礎知識と文化的素養そして言語・情報・リテラシー能力を修得することを目的として，多様な教育を行っています。さらに，科学技術創造立国を担う創造的人材の育成を目指して，各種の学生実験や演習さらには卒業研究を通じて自律的な実践力，課題発見・解決能力を養成するとともに，他者との協調性なども養成しています。

したがって，高校時代においては数学，物理，化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけるとともに，エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち，あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲ある皆様の入学を期待しています。

【2．入学者選抜の基本方針】

電気電子工学科では入学者選抜に際して，客観性，公平性，開放性を旨とし，入学後の教育に必要な基礎学力と電気電子系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し，以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1．一般入試（前期日程，後期日程）

電気電子工学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力が備わっているか，さらにグローバルな活躍に必要な知識や技能，課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを審査します。前期日程においては，電気電子工学履修上の中核となる数学と物理に重点化した個別試験を実施し，後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2．特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力，電気電子工

学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文や面接等によって総合的に審査します。

3．特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

電気電子工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4．3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な電気電子工学の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

電気電子工学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に電気電子工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることを求めます。

都 市 工 学 科

【1．求める学生像】

都市には、交通や水、エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤、施設の整備と安全確保が必要とされますが、同時に自然環境や歴史との調和も求められます。デザイン性も強く要求される時代となっています。形態や空間を扱うデザインでは、美的な感性に加えて、人々の思い入れや自然観についても感じることでできる素養が必要です。市民から専門家まで多くの人達とのコミュニケーション能力も大切になります。

都市工学科は「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制により、人々が安全安心かつ快適に生活することに貢献できる高度な専門的能力を身につけた多様な人材を育成します。教育方針の特徴は、専門科目のほとんどが選択科目であることです。選択責任が求められますので、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ学生の入学を望みます。

【2．入学者選抜の基本方針】

都市工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と都市工学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

1．一般入試（前期日程、後期日程）

都市工学科で学ぶ専門科目を理解できる幅広い基礎的な学力と知識を有しているか、そして卒業後あるいは大学院進学後に求められる素養や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得できる能力を有しているかを審査します。

前期日程においては、大学入試センター試験の他、都市工学の「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」のいずれにおいても基礎となる数学と物理に重点化した個別試験を実施し、後期日程では主として大学入試センター試験の結果から幅広い知識の

総合力と理工学に関連する基礎学力を問います。

2．特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験のみでは評価・確認が困難な特徴的な資質・能力，具体的には都市環境基盤や建築・都市デザインで代表される都市工学分野への勉学意欲や熱意，さらには適性にも配慮して，高校等での学習・活動履歴，小論文，面接によって総合的に審査します。

3．特別入試（帰国子女），私費外国人留学生入試

都市工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として，国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ），面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4．3年次編入学試験（一般，推薦，外国人留学生）

高等専門学校，大学等の教育機関から継続的に高度な都市工学の専門教育・研究を強く希望する学生を対象として，3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験，面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

数学・理科（物理，化学）・外国語（英語）の教科について，教科書レベルの基礎的な知識を有し，都市工学の基礎専門科目（数学，力学など）を理解できることを求めます。

国語・社会の教科について，基本的な知識を有していること。都市工学分野における問題に関心を持ち，これら問題を多面的に分析し，自分の考えをまとめ，意見交換ができることを求めます。

農 学 部

< 入学者受入れの方針 >

今，私たちが生きる21世紀は，大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会への転換が求められています。このような時代背景のなか，日本有数の食料生産基地である佐賀平野に立地する佐賀大学農学部は，農学という学問が，理系から文系にわたり，基礎から応用に及ぶ総合科学であることを踏まえ，「食料」，「生命」，「環境」，「情報」，「エネルギー」，「地域社会」をキーワードとした多様で重要な課題を解決していこうとしています。そのために，創造性豊かな専門職業人を育て，国内はもとより，アジアをはじめとする世界に貢献します。これらのことから，農学部は，個性とバイタリティーにあふれ，基礎学力を有する人を歓迎します。

【 1 . 求める学生像】

応 用 生 物 科 学 科

- 1．多様な動植物の生理生態的特性の解明，バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用，有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- 2．問題解決に向けて，粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
- 3．本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

生 物 環 境 科 学 科

- 1．自然環境，社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- 2．持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
- 3．本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

生 命 機 能 科 学 科

- 1．生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス，食品の生体調節機能，栄養機能や安全性等に興味を持っている人
- 2．将来，本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

【２．入学者選抜の基本方針】

農学部が求める学生像にふさわしい学生を選抜するために、一般入試、推薦入試、帰国子女特別入試、私費外国人留学生入試及び３年次編入学試験の多様な入学試験を実施します。

〔一般入試〕

高等学校等での学習の達成度を評価するために、大学入試センター試験及び個別試験を課します。大学入試センター試験では、５教科７科目を課し、数学及び理科の学力を重視します。個別学力検査では、前期日程で数学及び英語、後期日程で数学の学力試験を課し、入学後に必要な基礎学力を測ります。

〔推薦入試〕

第一次選考及び第二次選考により、合格者を決定します。第一次選考では、書類審査（調査書、推薦書、作文等）を行い、高校における学習状況等を評価します。第一次選考の合格者について第二次選考を行います。第二次選考では、小論文を課し、論理的思考力、表現力及び記述力を評価し、面接（口頭試問を含む）により、入学後に必要な基礎学力と勉学意欲を測ります。

〔帰国子女特別入試〕

第一次選考及び第二次選考により、合格者を決定します。第一次選考では、書類審査（成績証明書等）により、これまでの学習状況等を評価します。第二次選考では、第一次選考合格者に対し、小論文を課し、論理的思考力、表現力及び記述力を評価し、面接（口頭試問を含む）により、入学後に必要な基礎学力と勉学意欲を測ります。

〔私費外国人留学生入試〕

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績、TOEFL の成績及び面接により、志望学科の学業に対する熱意と適性を測ります。

〔３年次編入学試験〕

試験科目として、英語、口頭試問及び面接を課し、編入学後に必要な学力と勉学意欲を測ります。

【３．高等学校段階で習得すべき内容・水準】

農学は、農業生産を中心として、医・薬・理・工・経・文など衣食住に関わる多様な分野ならびに自然環境に至るまでの幅広い分野を有する総合科学です。本学部の学生は、一般入試・特別入試（推薦、帰国子女）・編入学という異なる方式で入学していますが、いずれの入学方式においても、各試験科目については高校卒業程度（編入学は短大・高専卒業程度）の理解水準が必要です。

また、佐賀大学農学部の３つの学科では、それぞれの学科の教育内容に応じて次のような知識と学力を持つ学生を求めています。

応 用 生 物 科 学 科

理科（生物Ⅰ・化学Ⅰ）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）についての高等学校レベルの知識を修得しているとともに関連した問題を解く能力を持つ人

生 物 環 境 科 学 科

理系から文系に及ぶ広範な専門領域を学ぶことから、国語・英語・数学の素養に加えて、高等学校レベルの理科及び社会の幅広い知識を修得している人

生 命 機 能 科 学 科

化学的手法が多用されることから、化学はもとより、生物、物理、数学等の理系科目に興味を持ち、英語、国語、社会等の基礎学力を修得している人

Ⅲ 私費外国人留学生入試

1 募 集 人 員

学 部	学科・課程，選修等		募集人員	備 考
文化教育 学 部	学校 教育 課程	教 育 学 選 修	各課程とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 左欄から1つの課程，選修を志望してください。
		教 育 心 理 学 選 修		
		障 害 児 教 育 選 修		
		教 科 教 育 選 修		
		理 科 選 修		
		数 学 選 修		
		音 楽 選 修		
	国際文化 課 程	日本・アジア文化選修		
		欧 米 文 化 選 修		
	人間環境 課 程	生活・環境・技術選修		
健康福祉・スポーツ選修				
美 術 ・ 工 芸 課 程				
経済学部	経済シス テム課程	国際経済社会コース	各課程とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 2 課程の中から 1 課程を志望してください。 ○ 各課程は，入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。
		総 合 政 策 コ ー ス		
	経営・法律 課 程	企 業 経 営 コ ー ス		
		法 務 管 理 コ ー ス		
医 学 部	医 学 科		若 干 人	○ 日本語を理解できる者
理工学部	数 理 科 学 科		各学科とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 7 学科の中から 1 学科を志望してください。 ○ 機能物質化学科は，入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。 ○ 都市工学科は，入学して1年半後にそれぞれのコースに分かれます。
	物 理 科 学 科			
	知 能 情 報 シ ス テ ム 学 科			
	機能物質 化 学 科	物 質 化 学 コ ー ス		
		機 能 材 料 化 学 コ ー ス		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科			
	電 気 電 子 工 学 科			
	都 市 工 学 科	都市環境基盤コース		
		建築・都市デザインコース		
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		各学科とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 3 学科の中から 1 学科を志望してください。 ○ 生物環境科学科は，入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。
	生物環境 科 学 科	生物環境保全学コース		
		資源循環生産学コース		
		地域社会開発学コース		
	生 命 機 能 科 学 科			

2 出 願 資 格

日本の国籍を有しない者で，独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成23年度（2011年度）日本留学試験」（6月又は11月実施のいずれか，医学部は11月実施のみ。）において本学が指定する科目等を受験し，TOEFL を受験済みの者（経済学部を除きます。）で，次に掲げる入学資格を有する者

- (1) 日本国外において，学校教育による12年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (2) 上記(1)に準ずる者で，文部科学大臣の指定する者

3 出 願 期 間

平成24年 1 月 4 日(水)から 1 月11日(水)17時必着とします。

出願書類は、「速達書留」郵便により提出してください。

なお、配達に要する日時等を考慮して早めに郵送してください。

4 出願に必要な書類

出願書類等	摘 要
(1) 入学検定料 17,000円	本要項に添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。(次頁注1参照) ① 医学部において、第1次選考(「6入試方法」参照)の不合格者に対しては、13,000円を返還します。 ② 上記の①に該当する者は、「返還請求書」用紙等を送付しますので、必要事項を記入の上、用紙等を送付する際に指定する期日までに手続きを行ってください。 ③ なお、上記①、②及び次頁(注1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
(2) 検定料振込 証明台紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を本要項添付の台紙に貼り付けてください。
(3) 入学志願票	本学所定の入学志願票に必要事項を自筆で記入してください。
(4) 写 真 2 枚 (4cm×3cm)	上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。
(5) 履 歴 書	本学所定の様式に自筆で記入してください。(学校教育歴については、すべての教育機関にわたって、名称及び入学・卒業の年月を明記してください。)
(6) 高等学校等の 卒業(修了) 証明書及び 学校要覧等	○ 高等学校等の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込み証明書を提出してください。 ○ 国際バカロレア資格取得者等は、その資格証書の写しを提出してください。 ○ 卒業(修了)した高等学校等の沿革、概要及びカリキュラムを記載した学校要覧等を可能であれば提出してください。
(7) 成績証明書等	○ 卒業(修了)した高等学校の成績証明書(学校長が作成したもの)を提出してください。 ○ 飛び級や繰り上げ卒業の事実があれば記載してください。 ○ 科目名、成績評価等が符号又は略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。 ○ 国際バカロレア資格取得者は、最終試験6科目の成績証明書を提出してください。 ○ アビトゥア資格取得者は、一般的大学入学資格証明書に記載されている成績の写しを提出してください。 ○ バカロレア資格(フランス共和国)取得者は、成績証明書を提出してください。 ○ 各国の教育制度による、国家試験等の統一試験を受験している者は、成績評価証明書を必ず提出してください。 ・ Scholastic Aptitude Test (SAT) (アメリカ) ・ American College Testing-Examination (ACT) (アメリカ) ・ General Certificate of Education (GCE) (イギリス) ・ その他の国の成績評価証明書(なお、統一試験制度についての公式資料等を添付してください。)
(8) 日本留学試験 成績通知書 (写)	「平成23年度(2011年度)日本留学試験(注2)」(6月又は11月実施のいずれか、医学部は11月実施のみ。)の成績通知書の写しを提出してください。

出願書類等	摘 要
(9) 返 信 用 封 筒 1 枚	受験票 を送付しますので、本学所定の封筒の表面に「日本国内の連絡先」の住所、氏名、郵便番号を明記の上、 350円切手 を貼り付けてください。医学部については、第1次選考結果通知書と受験票（合格者のみ）を送付します。
(10) 住 所 届	本学所定の 住所届 に必要事項を自筆で記入してください。
(11) TOEFL(注3)スコア Examinee's Score Recordのコピー及び Official Score Report (経済学部を除きま す。)	TOEFL スコアは平成22年1月以降に受験した成績を有効とします。TOEFL スコアはインターネット版 TOEFL (TOEFL - iBT)、ペーパー版 TOEFL (TOEFL - PBT) を問いません。 なお、Official Score Report (注4)(注5)を平成24年1月11日(水)までに本学に届くようにアメリカにある ETS (Educational Testing Service) へ依頼してください。 (本学に届くまで4～7週間ほどかかりますので、11月末までに依頼を行ってください。)
(12) 外 国 人 登 録 原票記載事項 証 明 書 等	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは市区町村長が発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。 ○出願時に日本国内に在住していない者は、旅券の写しを提出してください。

(注1) 下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合(「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合)
 - ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が、検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合
- 出願書類を受理した後は、振り込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課(0952-28-8177)までお問い合わせください。

(注2)「日本留学試験」：独立行政法人 日本学生支援機構が実施する試験

問い合わせ先 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29
独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課
電話 03-6407-7457 FAX 03-6407-7462
E-Mail eju@jasso.go.jp HP <http://www.jasso.go.jp/>

(注3) TOEFL：アメリカにある ETS (Educational Testing Service) が世界中で実施している英語能力測定試験 <http://www.ets.org/toefl/>

(注4) 送付依頼方法 Official Score Report を佐賀大学へ送付する方法は、

- ① TOEFL - iBT 試験 で、受験申し込みの方法
 1. オンラインでの申し込みの場合は、申し込み時にリストから佐賀大学を探し選択してください。
 2. 郵送での申し込みの場合は、申込用紙に DI コード8267及び Department コード00を記入してください。

申し込みの際に依頼すれば、**無料**で送付依頼ができます。申し込み時でない場合は、**有料**となります。(受験日より2年以内のみ有効)
 - ② TOEFL - PBT 試験 の場合は、当日に佐賀大学の DI コード8267を記入してください。
- 試験当日は、**無料**で送付依頼ができます。試験当日でない場合は、**有料**となります。(受験日より2年以内のみ有効)

(注5) 発送にかかる期間 Official Score Report が、受験日から佐賀大学に届くまでには、

- ① TOEFL - iBT 試験 の場合、約4週間後
- ② TOEFL - PBT 試験 の場合、約7週間後

なるようです。詳しくは、国際教育交換協議会へお問い合わせください。なお、Official Score Report は、平成24年1月11日(水)までに届くように申請してください。(TOEFL 受験は、遅くとも平成23年11月末までに受験していないと、ETS (Educational Testing Service) から Official Score Report が、平成24年1月11日(水)までに届かない恐れがあるので注意してください。)

問い合わせ先 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部
TOEFL 事業部コールセンター 電話：03-5467-5489 (オペレーター対応時間
平日 10:30～16:30) 時間以外は、24時間テープ案内。 <http://www.cieej.or.jp/>

5 出 願 方 法

- (1) 出願書類等は、一括して本学所定の「出願用封筒」に入れ、「速達書留」とし、出願期間内に提出してください。

【提出先】

〒840 - 8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課

- (2) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受理しません（受理されなかった場合は、検定料の返還請求の手続きを行ってください。）
- (3) 出願書類受理後は、いかなる事情があっても住所・連絡先以外の記入事項及び書類の変更は認めません。また、納入された入学検定料は第 1 次選考の不合格者を除き一切返還しません。

6 入 試 方 法

- (1) 文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部

次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成23年度（2011年度）日本留学試験」の成績及び TOEFL の成績（経済学部を除きます。）並びに本学が行う学力検査等の成績を総合的に判断し、合格者を決定します。

- (2) 医学部

① 第 1 次選考

次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成23年度（2011年度）日本留学試験」の成績，TOEFL の成績及び出願者の提出書類により，第 1 次選考の合格者を決定します。

第 1 次選考の結果は，出願者全員に「速達郵便」で通知し，合格者には本学の受験票を同封します。

なお，同通知が平成24年 2 月14日(火)までに到着しない場合は，学務部入試課（電話0952 - 28 - 8178）に問い合わせてください。

② 第 2 次選考

第 1 次選考の合格者に対して，総合問題を課し，面接を行い，第 1 次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③ 評価のポイント

ア 総合問題

総合問題は，在学中に学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか否かを判定します。また，卒業後医療に従事する際に必要な問題解決，論理的思考，表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか否かを総合的に判定します。

イ 面 接

面接は，医学部に入学するにふさわしい人物を選抜するために定めている評価項目の一つで，医学部志望の動機，学習意欲・積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断するために実施します。

なお，総合判定の重要な資料とするとともに，評価が低い者は不合格とすることがあります。

- (3) 日本留学試験及び TOEFL（経済学部を除きます。）並びに本学が行う学力検査等のうち一つでも受験しなかった者は，失格とします。

(4) 実施教科・科目等

事項		文 化 教 育 学 部												経済学部	医学部	理工学部	農学部
		学 校 教 育 課 程						人 間 環 境 課 程									
		教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修	教科教育選修		理 科 選 修	数 学 選 修	音 楽 選 修	国際文化課程	生活・環境・技術選修		健康福祉・スポーツ選修	美術・工芸課程					
日本留学試験	利用する回の指定	6月、11月のいずれか												6月、11月のいずれか	11月	6月、11月のいずれか	6月、11月のいずれか
	出題言語の指定	日 本 語						日 本 語 又 は 英 語						日本語	日本語	日本語又は英語	日本語
	文系と理系の別	文系又は理系		文系又は理系		理 系	理 系	文 系	文 系	文系又は理系		文 系	文 系	文 系	理 系	理 系	理 系
		文 系	理 系	文 系	理 系			文 系	文 系	文 系	理 系	文 系	文 系	文 系	理 系	理 系	理 系
	日本語	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	理科	/	○	/	○	○	/	/	/	○	/	/	/	/	○	○	○
	数学(コース1)						/							○	/	/	/
科目	数学(コース2)						○								/	/	○
	総合科目	○	/	○	/	/		○	○	○	/	○	○	○	/	/	/
	理科の選択科目	/	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	/	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	/	/	/	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	/	/	/	/	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択
	TOEFL	○												-	○	○	○
	学力検査等	面接、日本語(作文)						面接、 実技検査	面接、日本語(作文)				面接、 実技検査	面接、 日本語	面接、 総合問題	面接	面接
特記事項、備考		美術・工芸課程の実技検査は、鉛筆によるデッサン(実技用具は大学で準備します。)												日本語は読解・作文リスニングとします。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熟意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熟意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熟意と適性があるかどうかを判断します。

（注1）○印は、必ず受験しておくことを示します。

（注2）印は、数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。

（注3）各学部第1志望のみ。

(5) 日本留学試験，TOEFL，学力検査等の配点等

事項		文 化 教 育 学 部												経 済 学 部	医 学 部	理 工 学 部	農 学 部
		学 校 教 育 課 程							国 際 文 化 課 程	人 間 環 境 課 程			美 術 ・ 工 芸 課 程				
		教 育 学 選 修 教育心理学選修 障害児教育選修	教 科 教 育 選 修		理 科 選 修	数 学 選 修	音 楽 選 修	生 活 ・ 環 境 ・ 技 術 選 修		健 康 福 祉 ・ ス ポ ー ツ 選 修							
日本留学試験	文系と理系の別	文系又は理系		文系又は理系		理 系	理 系	文 系	文 系	文系又は理系		文 系	文 系	文 系	理 系	理 系	理 系
	文 系	理 系	文 系	理 系	文 系					理 系							
	日 本 語	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	225	450	450	450	
	理 科		200		200	200	200				200				200	200	200
	数 学	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	100	200	200	200
総 合 科 目		200		200				200	200	200		200	200	100			
英語 (T O E F L)		300													300	300	300
面 接		400	400	300	300	400	500	300	400	300	300	400	500	合、否	60	A , B , C	850
日 本 語		500	500	600	600	500	400		500	600	600	500		400			
総 合 問 題															240		
実 技 検 査								600					400				
総 合 評 価 等		2050												合、否	合、否	良、可、不	合、否

7 試験日程及び試験時間

学 部	月 日 (曜)	試 験 時 間	試 験 場
文化教育学部	平成24年 1 月19日(木)	10 : 00 ~	文化教育学部 (本庄キャンパス)
経済学部			経済学部 (本庄キャンパス)
(注) 医学部	平成24年 2 月25日(土)	9 : 30 ~	医学部 (鍋島キャンパス)
	平成24年 2 月26日(日)	9 : 10 ~	
理工学部	平成24年 1 月19日(木)	10 : 00 ~	理工学部 (本庄キャンパス)
農学部			農学部 (本庄キャンパス)

(注) 第1日目の総合問題を受験しなかった者は失格とし、第2日目の面接試験は受験できません。

8 事前相談を要するみなさんへ

本学において、受験上及び修学上の配慮を必要とされる志願者（障がい等を有するなど）は、出願にあたって、次により相談してください。

(1) 相談の時期

平成23年12月9日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

(2) 相談の方法

電話、郵便等にて、下記まで連絡ください。詳細については、その際に説明いたします。

[相談及び連絡先]

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課
(電話) 0952-28-8178

9 合格者の発表

合格者の発表は、次の日時に本学(本庄キャンパス)「学務部入試課(佐賀市本庄町1番地)」前に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

- ・文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部 平成24年1月27日(金)14時
- ・医学部 平成24年3月6日(火)14時

また、情報サービスの一環として合格者発表日の14時30分頃からホームページでも確認できます。

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

なお、電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、平成24年3月12日(月)から3月15日(木)17時までに必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

(2) 入学手続の内容

前記(1)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード(合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。)、写真(2枚)

② 「日本留学試験」の受験票

本人確認後、返却します。

③ 納入金

入学料：282,000円(入学手続時に納入してください。)

授業料：267,900円(前期・後期)[年額535,800円]

この金額は、平成23年4月現在のものです。

(留意事項)

- ① 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。

なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。

- ② 授業料(前期分)は入学手続時に納入する必要はありません。納入期間は、平成24年4月3日(火)から5月31日(木)です。(入学後に付与される学籍番号が必要となります。)

- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

- ④ 入学手続完了者で、特別な事情により平成24年3月30日(金)までに授業料を納入し、なおかつ平成24年3月31日(土)までに入学を辞退し、受理された場合には、納入した者の申し出により、納入済の授業料相当額を返還します。

- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

(3) 注意事項

- ① 合格者は、一つの大学にしか入学手続をとることはできません。
- ② 入学手続の全般にわたる詳細な手続方法は、入学手続関係書類の中に記載します。

11 入学許可の取消し

- (1) 平成24年3月までに学校教育における12年の課程を修了できない者は、入学許可を取消します。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取消することがあります。

12 そ の 他

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学金・授業料免除、（入学金徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

13 入学志願票等の記入上の注意

- (1) 志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が黒のボールペン等を使用し、丁寧に記入してください（障がい等を有する等の志願者で記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）
- (2) 学科・課程、選修のコード番号を記入する欄は「電算処理コード表（36ページ）」を参照し、正確に記入してください。
- (3) 印欄は、記入しないでください。
- (4) 不明の点があれば、佐賀大学学務部入試課（電話0952 - 28 - 8178）に問い合わせてください。

① 氏名、性別、生年月日及び出身国名又は地域名欄

- 氏名は、下記のすべてに記入してください。
 - (1)英字（アルファベット）による表記
 - (2)漢字又はカタカナによる表記（英字による略記を併用してもよい。）
 - (3)カタカナ（フリガナ）による表記
- 性別は、該当するコード番号を○で囲んでください。
- 西暦で生年月日を記入してください。月及び日が1ケタの場合は右づめとし、前1コマに「0」を記入してください。
- 出身国名又は地域名を記入してください。

② 最終出身学校名及びその卒業年月日を記入してください。

③ 志望学部及び学科・課程、選修

- 志望学部欄は、志望する学部のコード番号を○で囲んでください。
- 志望学科・課程、選修名欄は、志望する学科・課程、選修名を記入し、コード欄は、「電算処理コード表（36ページ）」により、該当する学科・課程、選修名のコード番号の数字を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。

④ 現住所及び電話番号等

- 本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、正確に記入してください。
なお、出願後、この欄に変更があった場合には直ちに電話により連絡するとともに、ハガキ等書面でもお知らせください。

【連絡先】〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課
(電話) 0952-28-8178

⑤ 写真票、受験票

- 氏名及び志望する学部、学科・課程、選修を所定の欄に記入してください。
- 上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り、その上に同封の写真用シールを貼り付けてください。

⑥ 検定料振込証明台紙

- 氏名及び志望する学部・学科等を記入の上、「C票 検定料振込証明書」を所定の欄に貼付してください。

⑦ 住所届

- 合格通知書は、住所届に記載された「日本国内の連絡先」に送付しますので、正確に記入してください。
なお、出願後、住所に変更があった場合には直ちに電話により連絡するとともに、ハガキ等書面でもお知らせください。

電算処理コード表

《学部コード》

学 部	コード
文化教育学部	1
経済学部	2
医 学 部	5
理工学部	3
農 学 部	4

《学科・課程，選修コード》

学部	学 科 ・ 課 程 ， 選 修		コード
文化 教育 学部	学 校 教 育 課 程	教 育 学 選 修 教 育 心 理 学 選 修	0 1
		障 害 児 教 育 選 修	0 2
		教 科 教 育 選 修	0 3
		理 科 選 修	0 4
		数 学 選 修	0 5
		音 楽 選 修	0 6
	国 際 文 化 課 程		0 7
	人 間 環 境 課 程		0 8
	美 術 ・ 工 芸 課 程		0 9
経済学部	経 済 シ ス テ ム 課 程		0 1
	経 営 ・ 法 律 課 程		0 2
医学部	医 学 科		0 1
理 工 学 部	数 理 科 学 科		0 1
	物 理 科 学 科		0 2
	知能情報システム学科		0 3
	機 能 物 質 化 学 科		0 4
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科		0 5
	電 気 電 子 工 学 科		0 6
	都 市 工 学 科		0 7
農学部	応 用 生 物 科 学 科		0 1
	生 物 環 境 科 学 科		0 2
	生 命 機 能 科 学 科		0 3

14 過去3か年の志願者等状況

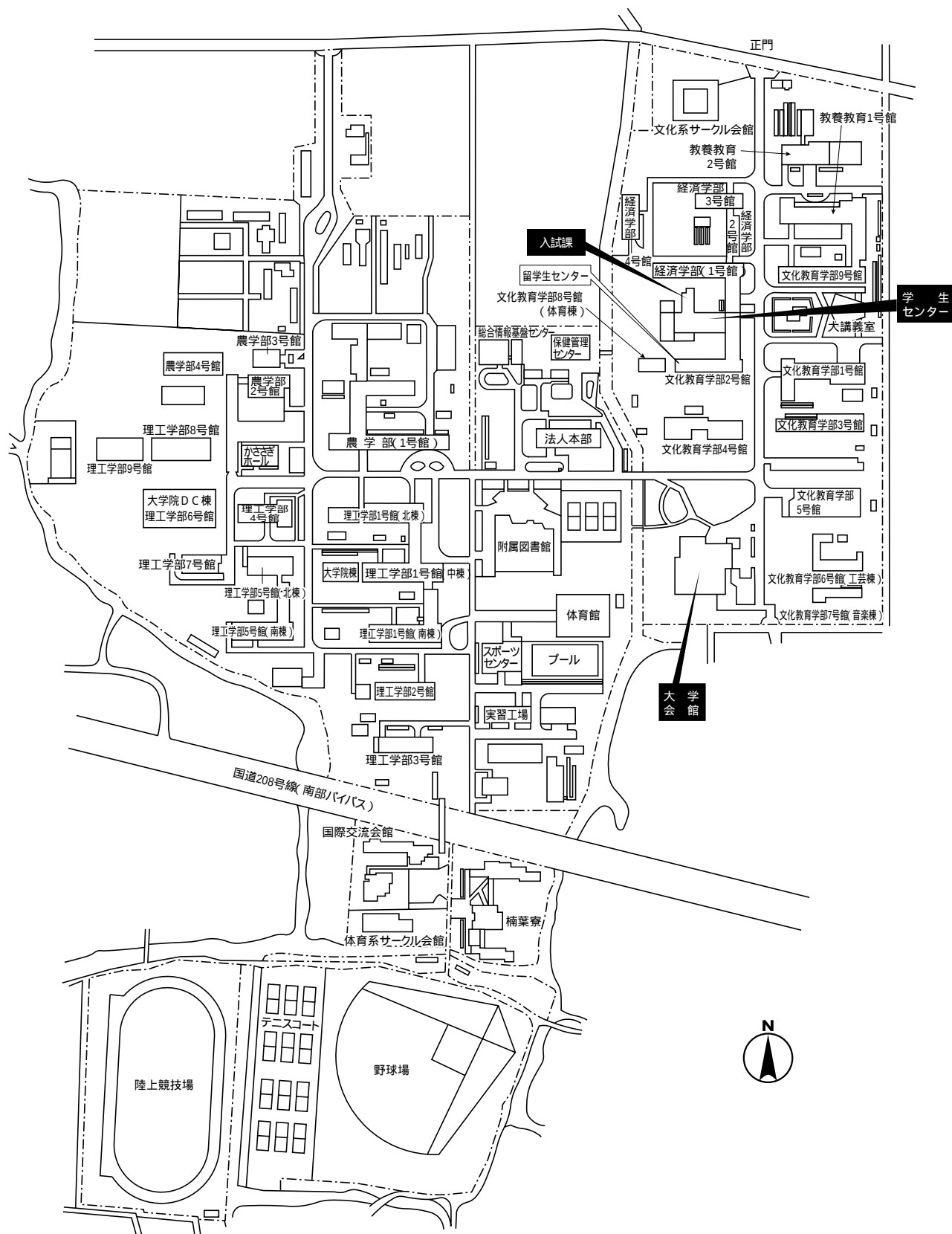
学部	学科・課程，選修		平成 21 年 度					平成 22 年 度					平成 23 年 度				
			募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数
文化 教育 学部	学校教育課程	教育学・教育心理学選修	若干人	2	2	1	0	若干人	1	1	1	1	若干人	1	1	1	1
		障 害 児 教 育 選 修	若干人					若干人					若干人				
		教 科 教 育 選 修	若干人	2	2	0	0	若干人					若干人				
		理 科 選 修	若干人					若干人					若干人				
		数 学 選 修	若干人					若干人					若干人				
		音 楽 選 修	若干人					若干人					若干人				
	国際文化課程	若千人	4	4	3	2	若干人	1	1	0	0	若干人	2(1)	2(1)	2(1)	1(1)	
		人間環境課程	若干人	4	4	3	0	若干人					若干人	2	2	2	0
		美術・工芸課程	若干人					若干人	1	1	1	1	若干人				
	小 計			12(0)	12(0)	7(0)	2(0)		3(0)	3(0)	2(0)	2(0)		5(1)	5(1)	5(1)	2(1)
経済学部	経済システム課程	若干人	12	12	5	3	若干人	20	19	5	1	若干人	18	18	2	1	
	経営・法律課程	若干人	28	27	8	3	若干人	23	21	7	3	若干人	39	38	12	9	
	小 計		40(0)	39(0)	13(0)	6(0)		43(0)	40(0)	12(0)	4(0)		57(0)	56(0)	14(0)	10(0)	
医学部	医 学 科	若干人					若干人					若干人					
	小 計		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
理 工 学 部	数 理 科 学 科	若干人					若干人					若干人					
	物 理 科 学 科	若干人					若干人					若干人					
	知能情報システム学科	若干人	3	3	1	0	若干人	2	2	1	1	若干人					
	機能物質化学科	若干人	1	1	0	0	若干人	2	2	2	0	若干人	5	5	2	1	
	機械システム工学科	若干人	6(1)	6(1)	4(1)	3(1)	若干人	5(1)	5(1)	2(1)	2(1)	若干人	6(1)	6(1)	2(1)	1(1)	
	電気電子工学科	若干人	4(1)	4(1)	3(1)	1(1)	若干人	3	3	1	1	若干人	9(1)	9(1)	3(1)	1(1)	
	都 市 工 学 科	若干人	5	5	1	1	若干人	8	8	3	1	若干人	7	7	3	1	
	小 計		19(2)	19(2)	9(2)	5(2)		20(1)	20(1)	9(1)	5(1)	若干人	27(2)	27(2)	10(2)	4(2)	
農学部	応 用 生 物 科 学 科	若干人					若干人	3	3	0	0	若干人	2	2	1	1	
	生 物 環 境 科 学 科	若干人	4	4	1	0	若干人	3	3	1	1	若干人	4	4	0	0	
	生 命 機 能 科 学 科	若干人					若干人	3	3	2	0	若干人	6	6	1	0	
	小 計		4(0)	4(0)	1(0)	0(0)		9(0)	9(0)	3(0)	1(0)		12(0)	12(0)	2(0)	1(0)	
合 計				75(2)	74(2)	30(2)	13(2)		75(1)	72(1)	26(1)	12(1)		101(3)	100(3)	31(3)	17(3)

() は，内数でマレーシア政府派遣留学生の数です。

Ⅳ 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

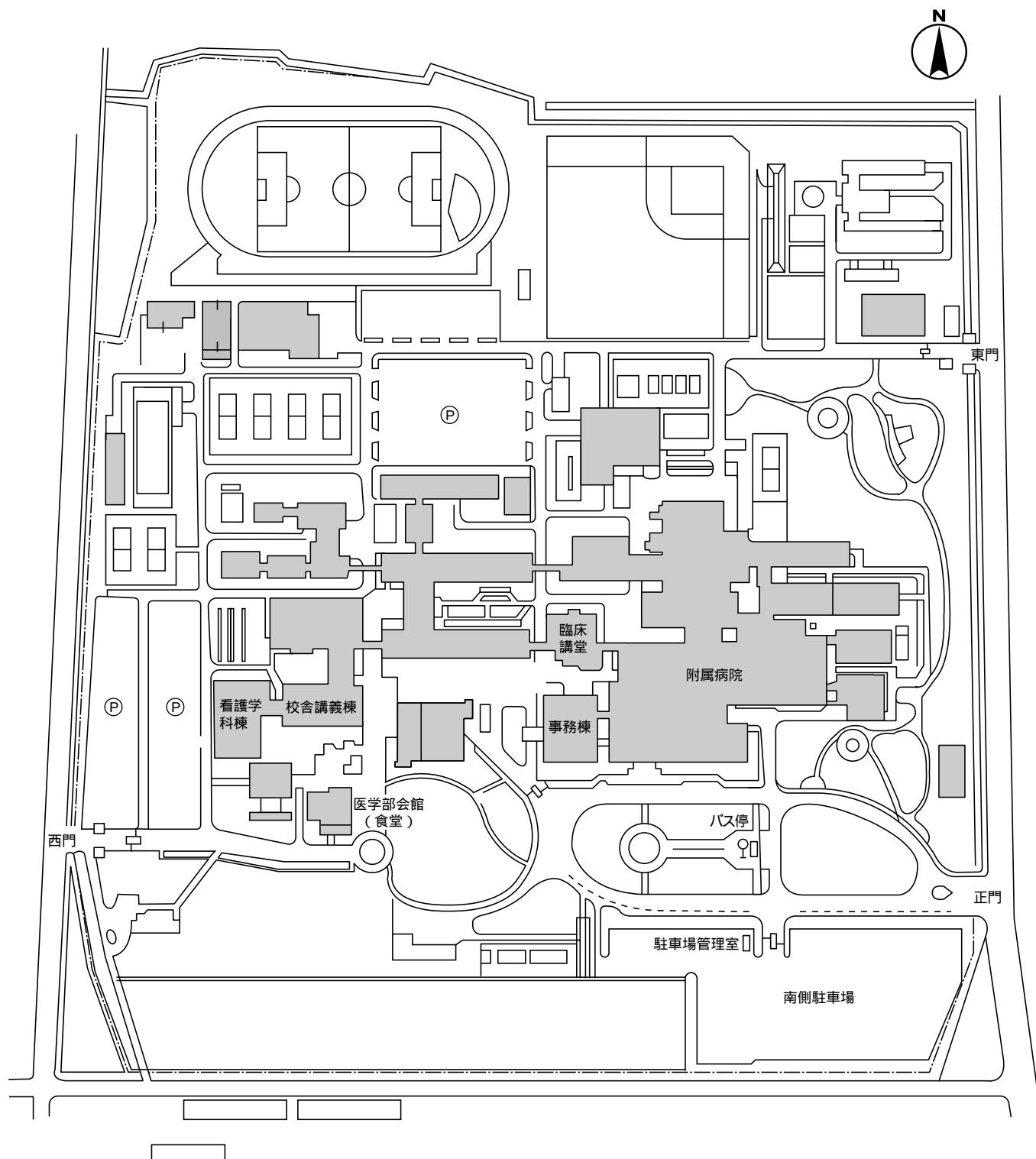
佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部]

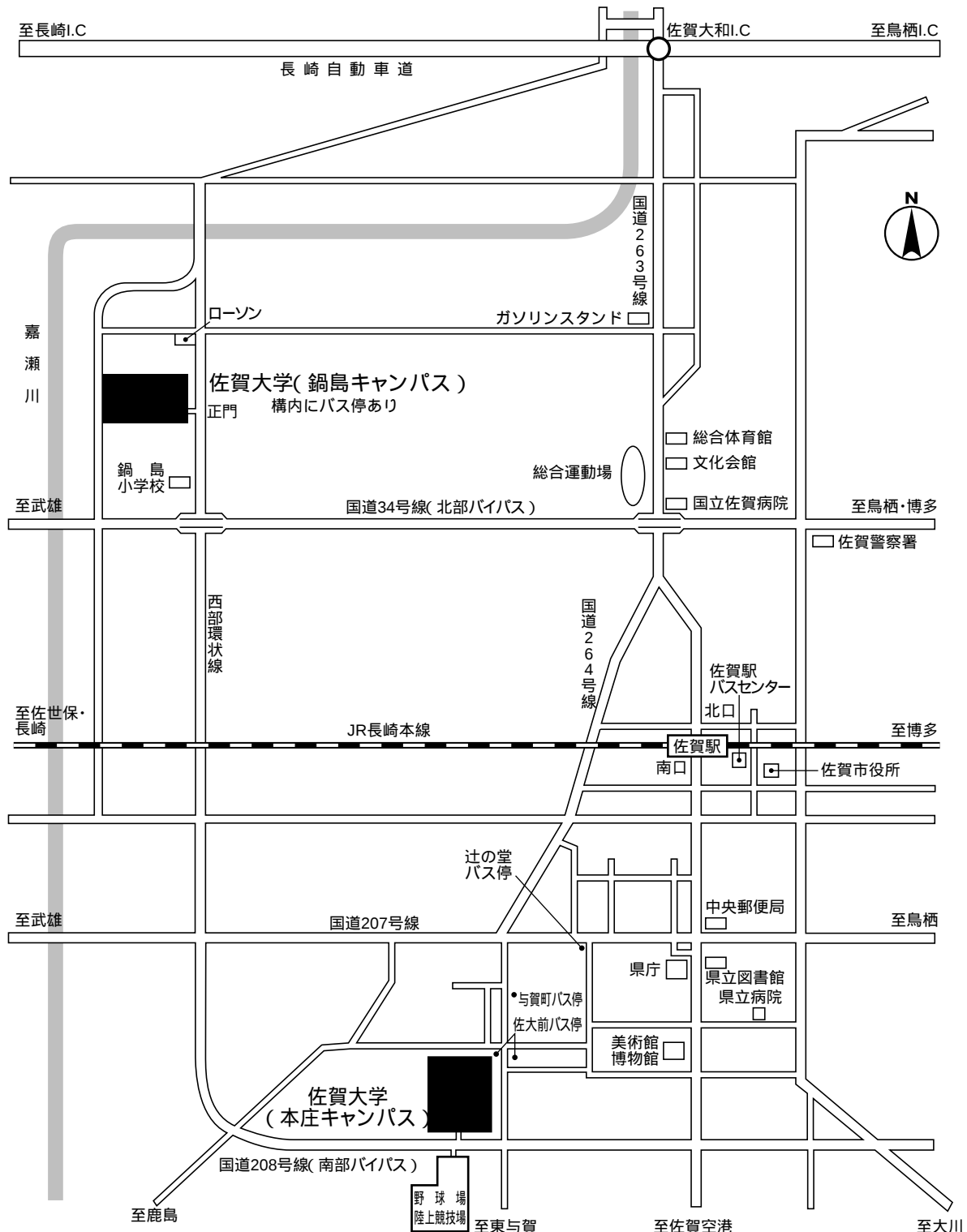


佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

〔医 学 部〕



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス相応線・11番，東与賀線・12番，佐大行・63番で約20分，「佐大前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター2番のりばから市営バス佐大医学部線（神野公園，鍋島小学校経由・50番）で約25分，終点「佐大医学部」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

試験当日に自家用車で来た人は，正門から入り，南側駐車場に駐車してください。（佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図参照）
また，帰りの際は，駐車場管理室に受験のため来た旨を申し出て，無料措置を受けてください。



本学の情報を携帯電話で見ることができます。
簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。

携帯用 URL:<http://daigakujs.jp/saga-u/>